

令和4年度園評価

リョーユー幼稚園

○教育方針

(1)建学の精神

「大きく、のびのび」とした心と体を養い、開拓心と報恩感謝の念と、たくましさを持ち、社会人として役立つ資質の芽生えを助長して、以って地域社会に奉仕したい。

(2)教育目標

建学の精神を受け、児童憲章、教育基本法の本質に基づき、好ましい人間像を求めて、子どもが本来持っている探求心・冒険心を満たし、楽しく活動できる環境のもとで、主体的な活動のできる子ども、思いやりのある情緒豊かな子どもの育成を目指した保育を行う。

内に秘めた子どものいろいろな資質を、諸々の活動や経験をとおして掘り起こし、豊かな人間形成への起点とする。

(3)当園が考える『望ましい子どもの姿』

① 心身ともにすこやかで、笑顔のよい子

健康な体を持ち、仲間と楽しく、元気に活動する子ども。

② 創意工夫しながら、のびのびと活動する子

ひとり遊びのときも、集団の中での遊びでも生き生きと活動し、遊びを工夫し発展させる子ども。

③ 情緒豊かで、思いやりのある子

身の回りの自然、素晴らしいこと、美しいものなどに感動できる心を持ち、集団生活の中で、やさしさ・思いやりが見えてくる子ども。

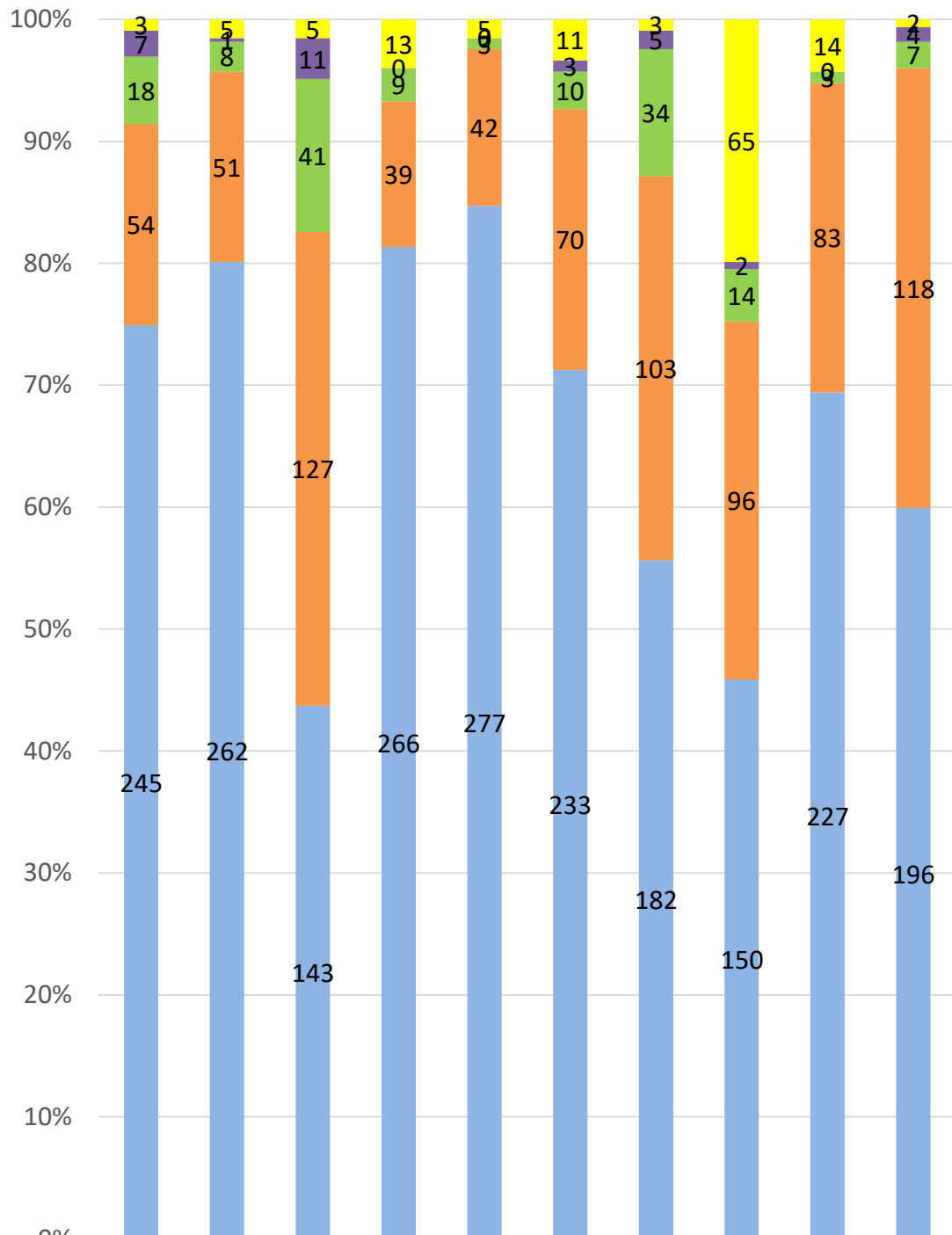
(4)努力目標

① 交通安全対策と園内の安全点検の励行。

② 毎日、環境を整えて、園児の登園を待つ。

③ 栽培活動や自然体験活動の推進と食育につなぐ活動の推進。

令和4年度 学校（園）評価



	喜んで登園	園生活を楽しむ	早寝早起	園の目標	園行事の充実	保育教諭の対応	家庭への情報提供	地域の環境や人材	小学校への接続	お子さまとの時間
■ わからない	3	5	5	13	5	11	3	65	14	2
■ 思わない	7	1	11	0	0	3	5	2	0	4
■ あまり思わない	18	8	41	9	3	10	34	14	3	7
■ 少し思う	54	51	127	39	42	70	103	96	83	118
■ そう思う	245	262	143	266	277	233	182	150	227	196

項目	評価	取り組み状況と改善点
教育目標	A	<p>「おおきく のびのび」の大きな教育目標はほぼ保護者に浸透しているようだ。コロナ禍明け、感染対策には十分配慮しながら、様々な分野の保育に取り組み、日々の保育の中から「おおきく のびのび」を感じ取れるようにしていきたいと思う。</p>
基本的な生活習慣	B	<p>「早寝早起き朝ごはん」をモットーに、基本的な生活習慣の確立を家庭に勧めている。しかし、まだまだ朝9時半までの登園時間が守られていないように思う。今後も家庭への働きかけを行っていききたい。園内での基本的な生活習慣(挨拶、衣服の着脱など)は発達段階に応じた指導はもちろん、子ども達のそばでの援助を心掛けて行っていききたい。</p>
保育の状況	B	<p>一人一人に応じた対応を心掛けながら、保育を行っている。子ども達が楽しみにして、「明日も園に行きたい」と期待できるような、保育の立案、充実を目指している。のびのびと遊ぶ中で、集団生活の約束や、話を聞く姿勢、自分の思いを言葉で伝えるなどの、小学校入学へとつながる保育を心掛けてきたい。コロナ禍でできなかった保育教諭の研修会参加も充実させていきたい。</p>
園生活	A	<p>園生活においては、子ども達は十分楽しんでいるようである。毎日の生活の中で、子ども達とはもちろん、保護者とも信頼関係を築けるように職員一同努力し、一層安心して預けてもらうことができるようにしていきたい。</p> <p>また、毎日の保育に変化があり、子ども達の期待や興味を高められるような保育の質の向上を意識していきたい。</p>
園行事	A	<p>様々な行事への保護者の参加をコロナ禍以前に戻すようしている。行事内容の見直しにより、実施日の分散化を行っているが、保護者の協力のもとスムーズな行事の実施となっている。今後も子ども達の発達段階や状況に応じた行事内容の検討を行っていききたい。</p>

<p>情報発信</p>	<p>B</p>	<p>感染症の発生状況をクラス名まで伝えるようにした。保護者が病院受診時に、園ではやっている(発生している)病気名を尋ねられた際、答えることができているようだ。</p> <p>保護者へのお願いやお知らせが、なかなか伝わっていないことが多く、どのようにしたら伝わるのか今後の課題である。情報発信の方法も今後検討していきたい。</p>
<p>子育て支援</p>	<p>B</p>	<p>「りょーちゃんひろば」「ピヨピヨランド」ともに、コロナ禍以前の参加人数の戻りが見られない。内容の検討を繰り返しながら、入園へとつながる子育て支援を考えていきたい。</p>
<p>地域や関係機関との交流や連携</p>	<p>A</p>	<p>地域の「佐用姫文庫」との交流活動は、以上児どの学年も実施できた。虹の松原の清掃活動も様々な人と一緒に取り組むことができている。地域の人との交流の大切さを感じている。今後、コロナ禍の制限がなくなった際は、子ども達にいろいろな経験をさせていきたい。</p> <p>小学校との交流も再開された際は、積極的に実施していきたい。</p>

※(評価の基準)

- A…十分に達成している
- B…達成している
- C…取り組みが不十分である
- D…全く取り組めていない